

障害者雇用に関する実態・意識調査及び卒業後追跡アンケートの結果について

1 はじめに

平成27年度・28年度の研究を通して、在学中のキャリア教育と卒業後のアフターケアを連動して生徒及び卒業生の“働くために必要な力”を高めることに継続して取り組み、特に、①コミュニケーション能力の向上、②基本的な生活習慣及び基本的な労働習慣の確立、③主体的に進路を選択し決定できる力の育成の3点についてはキャリア教育の中でも、本人が意識を高くもって努力する必要があると再確認できた。

そこで、3年間のアフターケア及び同窓会活動等により卒業生をサポートしながら、実態に応じて職場及び支援機関と連携し、卒業生の成功事例や課題等を在校生に還元できるように、職員間で情報を共有するとともに、引き続き卒業生（企業就労）の就労先へのヒアリング調査及び卒業生の追跡調査を行い、得られた結果を基に、キャリア教育の充実を図ることとした。

2 障害者雇用に関する実態・意識調査

(1) 目的

卒業生の職場定着に向けて、職場における卒業生の実態や障害者雇用の課題等を把握することによって、今後の本校のキャリア教育の充実を図る。

(2) 方法

ア 調査対象

本校卒業生の就労先担当者（昨年度未実施事業所のみ）

イ 調査時期

平成29年6月～7月

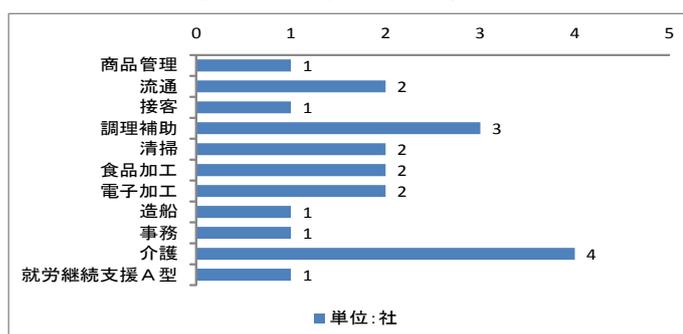
ウ 調査方法

ヒアリング調査用紙を作成し、アフターケアによる就労先訪問の際に聞き取りを行う。

エ 協力事業所数

20社

図1 協力事業所の業種



(3) 結果

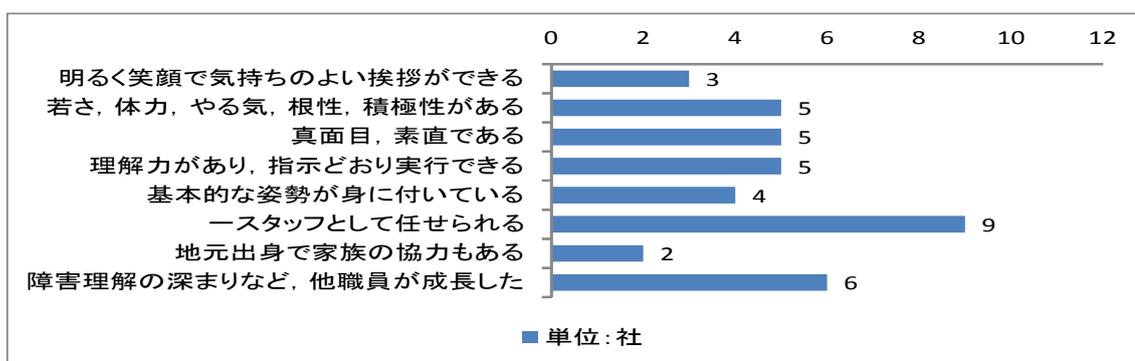
ア 雇用してよかったと感じることについて

本校卒業生を雇用してよかったと感じることを聞いたところ、図2のとおり、「一スタッフとして任せられる」が最も多い回答となった。特に、流通関係の事業所からの回答に多く、「助かっている。」など、大切な存在として感じていただいていることの喜びを、是非とも卒業生及び在校生に伝えたい。

次に多かったのが、「障害理解の深まりなど、他職員が成長した。」で、昨年度は最も多かった回答である。「職員が言葉遣い、話し方を意識している。」「分かりやすい教え方、伝え方が全ての職員の働きやすさにもつながっている。」など、雇用したことをメリットとして感じていただいていることに感謝したい。

また、今回得られた、企業側のメリットととらえていただいていることを、学校からの発信として今後の進路開拓に生かしていきたい。

図2 雇用してよかったと感じること

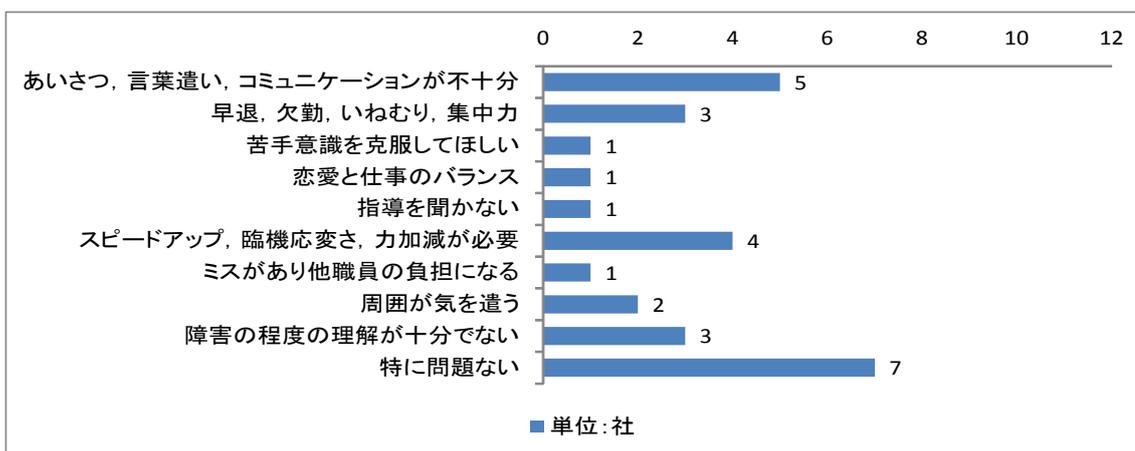


イ 雇用して困ったことについて

本校卒業生を雇用して困ったことを聞いたところ、図3のとおり、「特に問題ない」が最も多く、ほとんどの職種の事業所からの回答だった。これは、卒業生が就労先の仕事に責任をもって従事できていることと在学中の実習で事業所の方が実態を把握してくださり、卒業生の特性を理解した上で雇用していただいたことを確信できる結果と考える。

また、「あいさつ、言葉遣い、コミュニケーションが不十分」という回答や「自分から聞かない。」「あいさつの声が小さい。」なども、少数ながら指摘されており、現場の声を学習に取り入れて、コミュニケーション能力を高めることの必要性を在学中から意識させたい。

図3 雇用して困ったこと

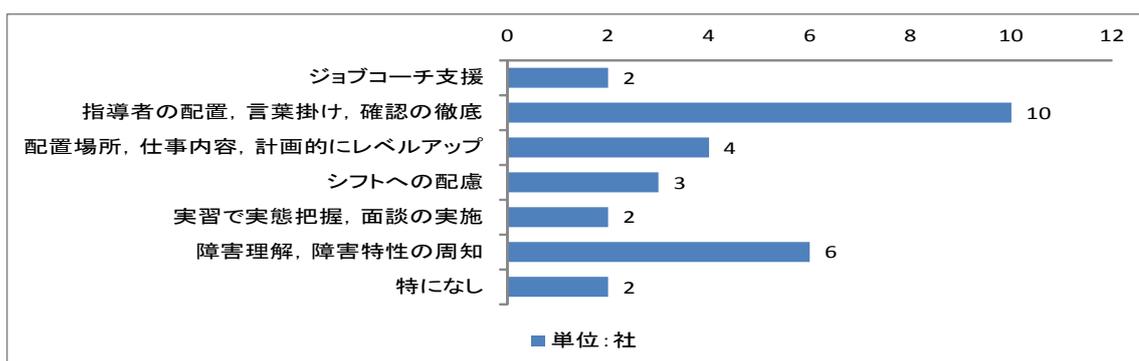


ウ 雇用する上で配慮したことや取り組んだことについて

本校卒業生を雇用する上で配慮したことや取り組んだことを聞いたところ、図4のとおり、「指導者の配置，言葉掛け，確認の徹底」について挙げた事業所が多かった。具体的には、「年齢の近い職員を配置した。」、「頭ごなしに言わない。」、「理解しているか確認するようにしている。」など、働きやすい環境をつくってくださっていることが分かる。また、「配置場所，仕事内容」にも配慮していただいている事業所や「障害特性の周知」をしてくださっている事業所も多い。

このことについても、アと同様に、学校からの発信として今後の進路開拓に生かしていきたい。

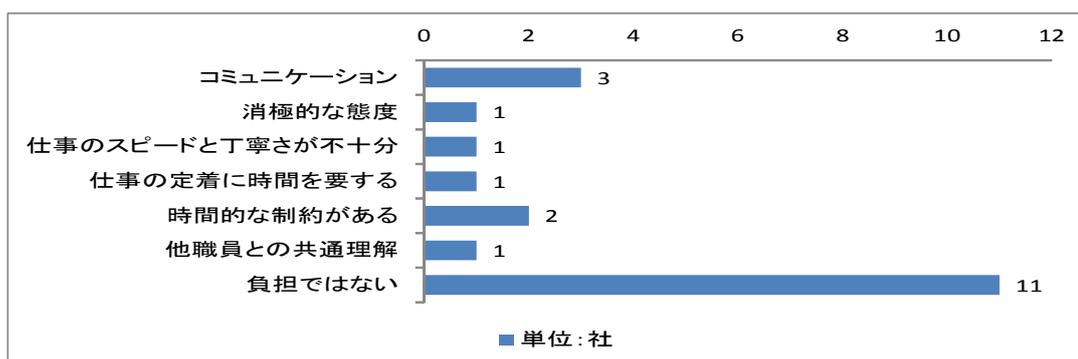
図4 雇用する上で配慮したことや取り組んだこと



エ 雇用して負担に感じたことについて

本校卒業生を雇用して負担に感じたことを聞いたところ、図5のとおり、ほとんどの事業所が「負担ではない」と回答してくださった。しかし、少数の回答ではあるが、「コミュニケーション面」や「態度面」，「仕事面」など、苦慮していることがうかがえる。このことに関しては、事業所及び支援機関と成功事例を共有し、問題点を解決できることを期待したい。

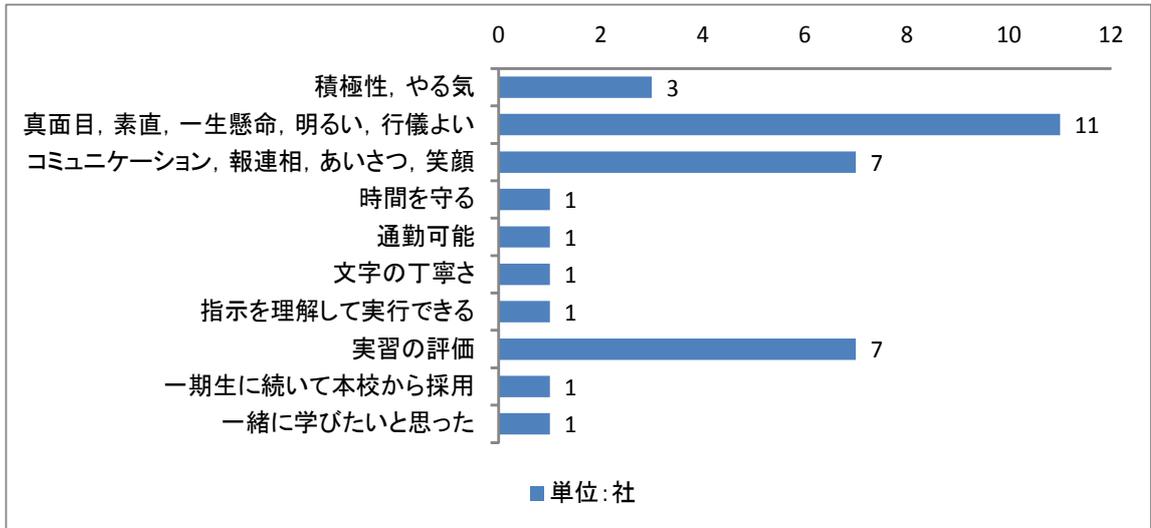
図5 雇用して負担に感じたこと



オ 採用のポイントについて

本校卒業生の採用に当たって決め手となったポイントについて聞いたところ、図6のとおり、「真面目，素直，一生懸命，明るい，行儀よい」が最も多く、特に、昨年度同様、「真面目さ」と「素直さ」を評価していただいた卒業生が多かった。また、「コミュニケーション，報連相，あいさつ，笑顔」も高い数値になっている。つまり、採用に当たって重視していることは、仕事に対する意欲と人に接する態度であると言える。これらのことを、校風として、職員及び生徒が共通認識して、学習活動に当たるようにしたい。

図6 採用のポイント



3 卒業後追跡アンケート

(1) 目的

卒業後、半年経った卒業生が、仕事に対する満足度及び社会生活をどのように捉えているかを把握することによって、今後の本校キャリア教育の充実を図る。

(2) 方法

ア 調査対象

平成28年度卒業生31人及び保護者

イ 調査時期

平成29年11月～12月

ウ 配付及び調査方法

(ア) アンケート用紙を作成し、アフターケアで就労先を訪問する際に本人に配付する。ただし、就労先を訪問しない卒業生については、郵送する。

(イ) 卒業生及び保護者は、それぞれアンケート用紙に回答を記入し、同封した返信用封筒にて、本校同窓会・アフターケア係まで返信する。

エ 回収率

62.5% (20人/32人)

オ 回答者の属性

在学時作業班

OA 実務班	福祉班	接客・ 接遇班	清掃班	流通班	農業・ 園芸班	食品 加工班	木材 加工班	計
3人	3人	1人	4人	3人	2人	2人	2人	20人

現在の就業形態

正社員	契約社員	準社員	パート	アルバイト	福祉サービス利用	計
8人	1人	3人	3人	1人	4人	20人

職種

商品管理	製造	調理	介護	清掃	事務	外-ンガ	接客	運送業	木工	移行支援	計
3人	3人	1人	3人	2人	1人	2人	1人	2人	1人	1人	20人

(3) 結果

ア 現在の職場での満足度について

現在仕事をしている卒業生の職場での満足度は、表1のとおりである。表から、「能力を発揮できる」、「責任ある仕事ができる」、「仕事内容」と「仕事面」に満足している卒業生が多い反面、「雇用形態」や「人間関係」について不満がある卒業生もいることから、やりがいを感じることができる仕事に、支えられていることがうかがえる。「仕事を任せられているので、頑張りますよ。」と笑顔で言ってくれた卒業生もいる。

表1 現在の職場での満足度

質問項目	満足	普通	不満足
能力を発揮できる	10人	10人	0人
責任ある仕事ができる	11人	9人	0人
仕事内容	12人	7人	1人
給料	10人	9人	1人
勤務時間	9人	9人	2人
人間関係	10人	8人	2人
仕事を丁寧に教えてくれる	11人	8人	1人

イ 仕事選びのポイントについて

(7) 卒業生

卒業時の仕事選びのポイントを図7に、社会人になってから重要視しているポイントを図8に示した。卒業時は「やりたい仕事」、「やりがいのある仕事」を重要視していたが、社会人になってからは、「人間関係」と答えた卒業生が「やりたい仕事」、「やりがいのある仕事」を大きく上回った。これにより、社会人になったことで人間関係の大切さを実感したと考察する。

図7 卒業時の仕事選びのポイント（複数回答）

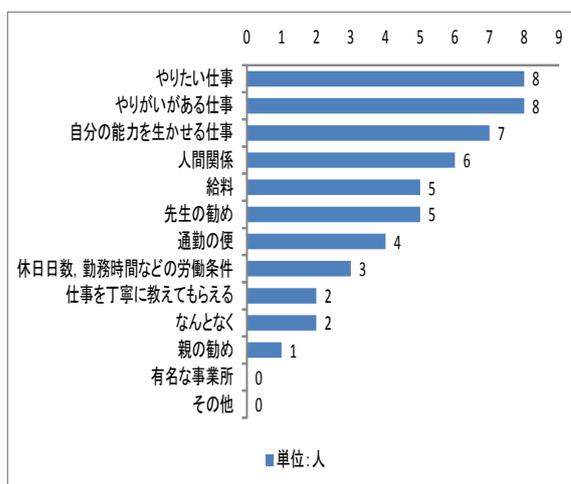
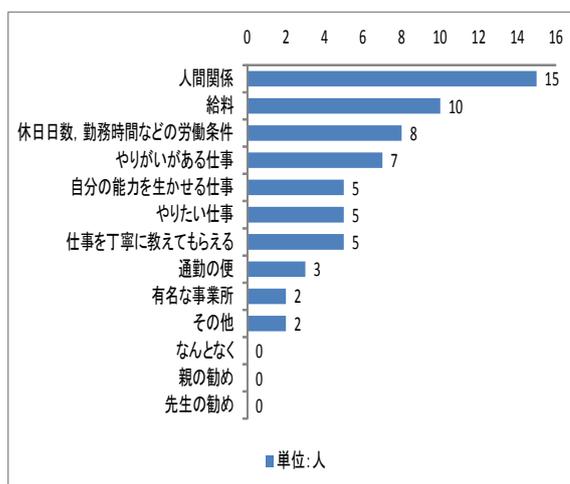


図8 現在重要視しているポイント（複数回答）



(イ) 保護者

保護者にも同様の質問をした結果を図9, 10に示した。卒業時は「本人の能力を生かせる仕事」、「本人がやりたい仕事」を重要視しているが、現在は「人間関係」を重要視している保護者が増えている。これは、周りの方への感謝やあらゆるタイプの方と接することで我が子が悩みながらも成長していく姿を応援する気持ちの表れだと感じる。

図9 卒業時の仕事選びのポイント（複数回答）

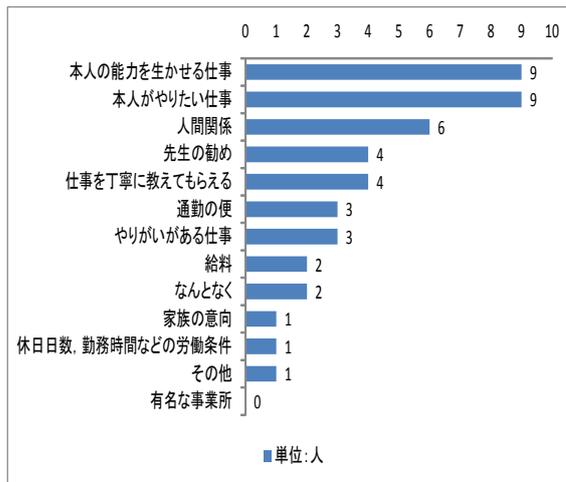
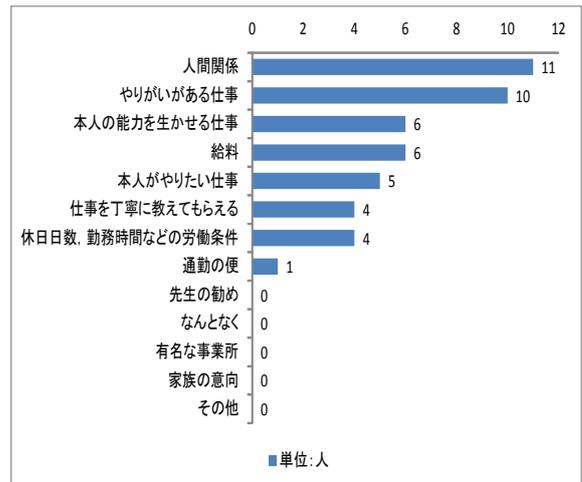


図10 現在重要視しているポイント（複数回答）



ウ 社会人になって、学生とのギャップを感じたこと等について

社会人と学生とのギャップについて聞いたところ、表2のとおり、卒業生は仕事をして給料をもらうことにより、責任をもって行動していると言える。また、自由な時間が少ないことを感じながら、社会人としての自覚をもって生活しているとともに職場は異年齢の方々の中で人間関係をつくっていかなければならないことを実感したとも言える。

そして、保護者には「学生との違い」についてアンケートで回答していただいた。表3のとおり、「責任感」、「やりがい」、「前向き」など、社会人としての自覚が出てきたことを実感できる回答が多かった。また、生活面では、「自分で起きるようになった。」、「休まなくなった。」など、うれしい回答がある反面、「金銭管理」などが課題に挙がった。

表2 社会人になって、学生とのギャップを感じたこと

分類	記述内容
仕事	少し責任感をもってやっていった方がよいと思った。
	自分が思っていた以上に責任感が必要とされた。
	社会人としての責任感。
	給料がもらえる。
	始業時刻が早くなった。
	環境。
人間関係	年代が違くと話せない。
	人間関係をつくるのが非常に困難。
	人間関係の広さ。
	社会人になって、いろんな人間関係があるのだと思った。
	上下関係。
	仕事は年齢の異なる人たちと同じことをしないといけない。
生活	コミュニケーションのとり方。
	全ての行動に責任を感じる。
	休日の日数が少ない。
	平日と休日の違い。
	体力が落ちた。
学校よりも行事が多くなった。	

表3 保護者が感じる学生との違い

分類	記述内容
仕事	お金を稼ぐことに対し、責任をもてるようになった（理解できた）。
	お給料をいただくようになり、以前より仕事に対するやりがいをもてるようになってきたように感じる。
	自分のこと、会社のこと、よく理解できたと思う。
	毎朝、仕事に行きたくないと苦痛の表情。微熱気味のときも無理して行こうとするときもあり、苦しいことから逃げなくなった。
	とても前向きになった。
	社会人になったという意識が高くなり、責任感や積極性が向上した。
	仕事をする社会人としての姿勢、意気込みを感じる。
	変容が見られないので、少しでも変わるために就労先と連携をとっている。
人間関係	友達との関係が希薄になった（休日が合わない）。そのためか、休日は外出することが少なくなった（休日は体調管理としても）。
	いろんな方とのコミュニケーションを積極的に図るようになった。
生活	一人でできることが多くなった。
	早寝早起きをするようになった。
	自分で朝起きるようになった。
	頼まなくても、私が忙しそうにしていると、家事を手伝ってくれるときもある。
	前日に準備を済ませる、朝自分で起きる等の基本的な生活習慣は、寄宿舎生活で身に付いており、継続できている。
	仕事中心に生活するようになった。
	休まなくなった。
	お金使いが急に荒くなった。
手伝いをしなくなった。	

エ 学生時代にやっておけばよかったと思うことについて

卒業生は「もっと〇〇しておけばよかった。」と感じている。内容を表4のように分類すると、あらゆるスキルを高める必要性と基本的な姿勢の大切さを実感していると考察する。

表4 学生時代にやっておけばよかったと思うこと

分類	記述内容
知識 技術 技能	免許取得。
	自動車免許を早く取得し、春休みはゆっくり遊びたかった。
	資格取得。
	勉強。
	英語をもっと勉強しておけばよかった。
意識 態度	自分に合った仕事を真剣に考えておくべきだった。
	もっと友達と遊べばよかった。
	人との関わり方（コミュニケーション）。
	自分のことよりも他人のことを考えられればよかった。
	もっと自分で考えて行動しておけばよかったと思う。先生方に言われるがままにしていた気がする。何事にも一生懸命に取り組むべきだった。
恋愛以外は全てやりきった。	

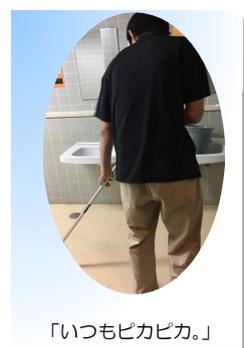
4 今後の展望

ヒアリング調査により、企業が求めている働く力に関する情報を収集することができた。その中で、昨年度同様、企業は、「真面目さ」、「素直さ」を本校の卒業生の良いところと捉えて採用したことが顕著に表れた。真面目で素直であることが、人間関係を豊かにし、職業生活が充実する重要なポイントであるということを、在校生に伝えていきたい。

また、アンケートを通して、「人間関係」、「責任感」の重要性を卒業生自身が感じていることから、コミュニケーション能力の向上と基本的な生活習慣及び基本的な労働習慣の確立については、引き続き、本校のキャリア教育において、生徒自身が意識して取り組んでいけるようにする必要があると言える。

併せて、本文には掲載していないが、保護者の皆様が、声を掛けたり、語り合ったり、確認したりと、日々卒業生を支えてくださっていることが、本アンケートから伝わってきた。その中で、支援機関との連携がうまくいっている場合と関わり方に不安を感じている場合があることも分かった。卒業生が安心して社会生活を送ることができるように、保護者も安心して支えていくことができるように、支援機関との連携を更に充実させる必要性を感じた。

今後も、卒業後の職場及び支援機関、家庭との連携と在学中の保護者への情報提供を充実させるとともに在校生に生きた教材として活用できるようにしていきたい。



5 おわりに

アンケートから、本校教育を充実させるために貴重な御意見をいただくことができました。今後、アンケート結果を基に一層の教育改善に努めます。

アンケートに回答いただきました卒業生及び保護者の皆様に心より御礼申し上げますとともに今後のますますの御活躍をお祈り申し上げます。誠にありがとうございました。

